

第2次佐久市協働のまちづくり計画骨子案に対して提出された意見の概要とそれに対する市の考え方

意見要旨	市の考え方
<p>○「佐久市協働のまちづくり」は、各区の区民活動が原点と思っています。市内にある区の活動が活発に展開されれば、協働のまちづくりに直結すると考えています。これをどう位置付けるかが課題だと思います。(コロナ禍でほとんどの区が活動を自粛していますが、合わせて課題だと思います。)</p>	<p>○市民活動サポートセンターを拠点として、地域コミュニティの維持のために取り組む活動を支援するとともに、地域ごとの対話の場の中で、地域が一体となって課題解決に取り組むきっかけづくりを行っていきたいと考えています。</p> <p>○市民活動サポートセンターにおいて、ポストコロナの新しい日常に対応した市民活動や団体運営の維持など、実情に応じた講座や相談支援を行っていきます。</p> <p>(参考：R3.8.29実施 コミュニティマネジメント講座「withコロナ時代市民活動・地域活動のあたため方」オンライン開催で18名参加)</p> <p>○ご指摘のとおり、区の活動は地域コミュニティの基本です。上記のほか、計画に沿った取組の中で支援を行っていきます。</p>
<p>○市民に読んでもらうことを前提に、内容は良いが、文章の言い回しや言葉が固くては読み続ける意欲がなくなってしまいます。小学校6年生くらいでも理解できる文章にしたいです。挿絵などを少し入れることはできないでしょうか。</p>	<p>○素案の段階で、事例を追加したり、イラストを含めた構成を検討し、さらにイメージしやすい内容になるように努めます。</p>
<p>○大項目3の(1)協働に取り組む目的の項ですが、目的なので、「～のことです」の様にまとめるのが一般的ではないでしょうか。文章も少し簡潔にしたほうがよいのでは。「いろんな」は「いろいろな」のほうがよいのでは。</p>	<p>○修正します。(下線部)</p> <p>(1) 協働に取り組む目的</p> <p>市民一人ひとりやまちを構成する<u>いろいろな主体が</u>、自主的・主体的に活動し、協力し合って地域の課題や目標についてともに考え、まちづくりに参加することで、くらしやすく住み続けたいと思えるまちをつくる<u>ことを目的として</u>、協働に取り組んでいきます。</p>

<p>○活動事例が記載されていてわかりやすい。写真も掲載したらさらによいのでは。</p>	<p>○素案の段階で掲載できるよう、検討中です。</p>
<p>○基本方針3の(1)の佐久市まちづくり活動支援金について、手続の部分の改善については、進行中ということではなかったでしょうか。</p>	<p>○手続の簡素化について、現在も検討中です。計画期間中も随時見直しを図り、活用しやすい支援金を目指します。</p>
<p>○大項目3の(5)協働の原則の中の「オ 評価・検証の原則」について、次のステップアップに向けて一番重要なことなので、(6)にして独立性を持たせたらどうか。例) (6) 評価・検証の鉄則、と項目建てするなど。</p>	<p>○ご指摘のとおり、反省を生かし改善することがより良い協働事業につながりますが、他のいずれの原則も等しく重要な内容と考えております。また、本計画や市の協働事業については、巻末の「6 計画の推進体制・進行管理」の中で評価・検証の原則に基づき、しっかりと取り組んでいきます。</p>
<p>○基本方針3の導入文の「市ではこんな計画を考えています」のところに、「団体ではこんな計画があります」を追加したらどうか。(団体ごとにやりたいことや考え方があ る。)</p>	<p>○本計画が、協働を進めるための市の施策の方向性を示すもので、個別の団体について掲載する内容ではないことから、追加の必要性が低いと考えます。しかしながら、ご意見いただいたように、市だけで協働に取り組んでいるわけではありませんので、今後の取組の中で、様々な団体や関係機関と協力しながら進めていきたいと考えております。</p>